

熊本高等専門学校ヒトを対象とする研究に関する倫理審査委員会議事要旨

日 時 令和4年12月7日（水）9：30～10：20
場 所 熊本キャンパス：大会議室、八代キャンパス：テレビ会議室
出席者 熊本キャンパス
光永教授、柴里教授、永田（正）教授、尾方総務課長
八代キャンパス
田中（禎）教授、湯治教授、井山教授
欠席者 熊本キャンパス
清田教授、永野教授

審査申請者 永田（正）教授

議 事

議題1

「歯根膜への振動刺激によるストレス緩和装置の開発に伴うストレス印加実験」における倫理審査

永田（正）教授より、倫理審査申請書及び同意書（案）に基づき、本研究の説明がなされた。

説明後、以下の質疑応答がなされた。

- ・ VR 動画の視聴により、被験者が体調不良の症状をどこまで想定されているかとの質問があり、ジェットコースター乗車の動画では気分が悪くなること考えられるため、そこまでの症状が生じないホラー動画を考えており、事前に研究開発者及び分担者が動画を視聴し体験するとの回答があった。
- ・ 同意書の説明文に VR 動画の内容を記載した方が良いとの意見があり、説明文に動画の内容を記載するとの回答があった。
- ・ 説明文に記載がある唾液成分をアミラーゼと明確に記載した方が良いとの意見があり、説明文に明示するとの回答があった。
- ・ 説明文に採取した唾液成分の検体は、感染対策のためゴム手袋を着用して作業するようとの意見があった。
- ・ 被験者に本科5年生を想定しているとのことだが、被験者の年齢に偏りが生じることにより実験データに問題はないかとの質問があり、他に掲載されている論文の実験でも今回想定している人数及び年齢層で実験したデータがあるとの回答があった。
- ・ 説明文の「8. 研究等に関する費用の負担」について、被験者の費用負担や謝金の有無、交通費支給又は自己負担、研究費で負担されるかどうかを文案のひな型を作成することが確認された。
- ・ 同意書の生年月日にある元号から「大正」を削除することが確認された。
- ・ 同意書の説明文にてストレス負荷内容の提示の有無により、ストレス変化が増大するか、影響するかとの質問があり、ストレス負荷内容を明示して実験を行うとの回答が

あった。

以上の質疑応答があった後、永田（正）教授は退席し、引き続き審査を行い次のとおり判定した。

判定 「条件付き承認」

条件 本校の産業医に当該実験計画を説明しご意見を伺って問題がないかを確認すること。

申請書及び同意書の内容に一部修正を加えること。

以 上